

2019年9月12日

12G-SDI／3G-SDI／HDMIの多彩なインターフェイスに対応

4Kライブ制作に最適なコンパクトライブスイッチャーを開発

ハイエンド大型スイッチャーに迫る基本機能を搭載



4Kライブスイッチャー AV-UHS500
2019年9月 パナソニック株式会社

パナソニック株式会社は、12G-SDIに対応したコンパクトな4KライブスイッチャーAV-UHS500を開発しました。2020年2月の発売を予定しています。

当社は、長きにわたり小型ライブスイッチャーを提供し、放送局をはじめスポーツ中継や音楽イベントなど数々の映像制作現場で高く評価されてきました。

AV-UHS500は、これまで培ってきた様々な技術を踏襲。4K／3G／HDマルチフォーマット対応に加え、4KでもHD運用時と同等の入出力数を確保します。さらに、ハイエンド大型スイッチャーに迫る基本機能が追加され、HD映像制作時と同等の運用性を4K映像制作で可能にします。

また、各種機能を拡張する5種類のオプションユニットを同時開発。SDIで最大16入力※、またはHDMIで最大8入力※まで拡張でき、用途に応じてユニットを増設することでカメラ台数の多い大規模イベントでもスムーズな運用を実現します。キーヤーはクロマキー2ch、PinP 2chを含む5キーヤーを装備し、多彩な効果による番組演出が可能です。さらに、アップ／ダウンコンバート機能、HDR／SDR変換機能、ITU-R BT.2020／BT.709変換機能を搭載しているため、異なるフォーマットが混在するシーンでも目的に合わせた柔軟な映像出力を選択できます。

放送局はもちろん、特設会場や中継車での持ち出し用途に、また大学や企業の講演イベントなどに、様々なシーンでの使いやすさを追求した4Kライブスイッチャーが、その現場の生きた映像制作に高いパフォーマンスを発揮します。

なお本機は、2019年9月13日(金)から9月17日(火)までオランダ・アムステルダムで開催される放送機器展「IBC2019」に出展します。

※オプションユニット装着時。

■対応フォーマット

3840×2160/59.94p、50p、29.97p、25p、24p、23.98p

1080/59.94p、50p、29.97Psf、25Psf、24Psf、23.98Psf、59.94i、50i

720/59.94p、50p

■オプションユニット

・SDI入力ユニット AV-UHS5M1G

・SDI出力ユニット AV-UHS5M2G

・HDMI入力ユニットAV-UHS5M3G

・HDMI出力ユニットAV-UHS5M4G

・4K DVEユニット AV-UHS5M5G

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。